

# Week2 (2023/12/16-22) 「語学学校での生活スタート」

海上保安大学校国際業務課程 内田 洋都  
真崎 輝



2023年12月18日(月)にEFボストン校に入学し、寮生活と授業が始まりました。

## 英語での授業に苦戦

語学学校での授業は当然のことながら、全て英語で行われ、先生が言っていることを一言一句聞き逃さないように集中しなければなりません。特に初日は、ネイティブのスピードに対応できず聞き取れないことが多々ありました。また、周りの学生のレベルに圧倒され自身の英語力不足を痛感しましたが、これこそが現地で学ぶ効果だと実感しています。



## 英語に囲まれた寮生活

語学学校では、数十カ国の人々が同じ寮で暮らしています。部屋は国籍が被らないようランダムに配置されます。トイレとシャワーは複数部屋共用で、食事はカフェテリアで一斉に摂り、一般的な寮よりも他の人と接する機会が多いのが特徴です。火曜日には今週一緒に入寮した生徒達と、語学学校主催でのボストンツアーを行いました。



## 研修生のコメント

寮には数十カ国の人々が暮らし、アメリカ人だけでなく、多くの国の人と触れ合えるのが魅力です。授業では、スラングや主に会話で使われる言い回し等も多く扱われ、更に、学生との会話を元に授業が進められていく日本ではあまり無かったスタイルのため、実際に学んだ言葉を使いながら知識と言語が定着していくのを実感しています。ところで皆さん、オックスフォードが選んだThe word of the yearのrizzという言葉をご存知でしょうか。私もいつかコーストガードの世界でrizzがある人になれるようこの貴重な機会を最大限に活用し頑張ります。(内田 洋都)

語学学校での授業は、これまでに日本で受けた英語の授業と比べても非常にタフなものです。授業スタイルも与えられたトピックに対する意見を主張する機会が多く、どのように表現すればいいのか分からず困ることが多々あります。しかし、このような英語漬けの日々を送れることに感謝し、残された期間を無駄にすることなく自身の英語能力の向上に努め、USCGAでの研修に向けて準備を万全に整えてまいります。(真崎 輝)